

平成 31 年 第 1 回

福岡地区水道企業団議会議録
(定例会)

平成 31 年 2月4日 (開会)
2月5日 (閉会)

平成31年第1回定例会目次

2月4日（月曜日）第1日

	ページ
議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
出席議員（14名）	1
欠席議員（1名）	2
説明のため出席した者	2
職務のため出席した事務局職員	2
開会（午後2時30分）	
○仮議席の指定	2
○会議録署名議員の指名	2
○報告	2
○挨拶	
古賀 ひろ子	2
大西 勇	3
○報告	3
休憩（午後2時33分）	3
開議（午後2時42分）	3
○議席の決定の件	3
○会期決定の件	3
○議案第1号ないし議案第3号 提案理由の説明	
企業長（諫山 和仁）	4
条例予算特別委員会の設置・付託	6
散会（午後2時54分）	6

平成31年第1回定例会目次

2月5日（火曜日）第2日

	ページ
議事日程	7
本日の会議に付した事件	7
出席議員（14名）	7
欠席議員（1名）	7
説明のため出席した者	7
職務のため出席した事務局職員	8
開議（午後1時00分）	
○議案第1号ないし議案第3号	
委員長報告	
条例予算特別委員会委員長（富永 周行）	8
採決	8
○挨拶	
1番（光安 力）	9
6番（栃木 義博）	9
8番（ひえじま 俊和）	10
企業長（諫山 和仁）	11
議長（松野 隆）	12
閉会（午後1時21分）	13
委員会審査報告書	14

(第 1 日)

平成 3 1 年 2 月 4 日 (月)

平成 3 1 年 第 1 回 福岡 地区 水道 企業 団 議 会 定 例 会

議 事 日 程 (第 1 号)

2 月 4 日 午後 2 時 3 0 分 開 議

第 1 議 席 の 決 定 の 件

第 2 会 期 決 定 の 件

第 3 議 案 第 1 号 平成 3 0 年 度 福 岡 地 区 水 道 企 業 団 水 道 用 水 供 給 事 業 会 計 補 正 予 算 案
(第 2 号)

第 4 議 案 第 2 号 平成 3 1 年 度 福 岡 地 区 水 道 企 業 団 水 道 用 水 供 給 事 業 会 計 予 算 案

第 5 議 案 第 3 号 福 岡 地 区 水 道 企 業 団 布 設 工 事 監 督 者 及 び 水 道 技 術 管 理 者 の 資 格 等 に
関 する 条 例 の 一 部 を 改 正 す る 条 例 案

本 日 の 会 議 に 付 し た 事 件

- 1 日 程 第 1
- 2 日 程 第 2
- 3 日 程 第 3 不 行 し 日 程 第 5

出 席 議 員 (1 4 名)

1 番	光	安	力
2 番	阿	部	真 之 助
3 番	大	森	一 馬
4 番	大	石	修 二
5 番	松	野	隆
6 番	栃	木	義 博
7 番	藤	本	顕 憲
8 番	ひ え じ ま	俊	和
9 番	富	永	周 行
1 0 番	白	石	重 成
1 1 番	橋	本	健
1 2 番	古	賀	ひ ろ 子
1 3 番	大	西	勇
1 5 番	田	原	耕 一

欠 席 議 員 (1 名)

1 4 番 花 田 鷹 人

説明のため出席した者

企 業 長	諫 山 和 仁
副 企 業 長	橋 本 淳
総 務 部 長	中 島 淳 一 郎
施 設 部 長	平 川 里 美

職務のため出席した事務局職員

議会事務局次長	靱 井 功 二
書 記	御 幡 弘 信

午後 2 時 30 分 開会

○議長 (松野 隆) ただいまから平成31年第 1 回福岡地区水道企業団議会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

この際、新たに議員に就任された古賀ひろ子議員、大西勇議員及び花田鷹人議員の仮議席を指定いたします。

ただいま御着席の議席を指定いたします。

次に、会議録署名議員に阿部真之助議員、古賀ひろ子議員を指名いたします。

日程に入るに先立ち、この際、報告いたします。

昨年10月に、結城弘明議員及び阿部寛治議員が退任されております。

また、昨年11月に、梶村公彦議員が退任されております。

次に、ただいまの各議員の後任として、宇美町の古賀ひろ子議員及び志免町の大西勇議員が、平成30年11月1日付で、宗像地区事務組合の花田鷹人議員が、平成30年11月13日付で当企業団議会議員に就任されております。

ここで、御挨拶をお受けいたします。古賀ひろ子議員。

○古賀 ひろ子議員 皆様、ただいま御紹介をいただきました糟屋地区選出の宇美町の古賀でございます。微力ではありますが、議員の皆様を初め、関係者の方々の御指導、御鞭撻をいただきながら、福岡都市圏の水道用水を、安全かつ安定的に供給するという当企業団の重要な使命に対しまして、議員としての職責を全うしてまいりたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

(拍 手)

○議長 (松野 隆) ありがとうございます。

大西勇議員。

○大西 勇議員 今回、糟屋地区から選出されました志免町の大西でございます。初めての企業団議会ではございますが、福岡都市圏の安心で快適な住民生活を支える水道を、将来にわたって効率的に運営するという当企業団の責務を踏まえ、皆様方とともに、職務に取り組んでまいりたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

(拍 手)

○議長 (松野 隆) ありがとうございます。御挨拶が終わりました。

次に、報告第1号として、平成30年度定期監査結果報告書が監査委員から提出されましたので、その写しを、去る1月28日、お手元に送付いたしております。

以上で報告を終わります。

この際、暫時休憩いたします。

議案の審査方法その他の協議のため、直ちに全員協議会を開きますので、議員の皆さんは委員会室にお入り願います。

午後2時33分 休憩

(休 憩)

午後2時42分 開議

○議長 (松野 隆) 休憩前に引き続き会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1、議席の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今回議員となられました古賀ひろ子議員の議席を12番議席、大西勇議員の議席を13番議席及び花田鷹人議員の議席を14番議席と決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (松野 隆) 御異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

次に、日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から明5日までの2日間にいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (松野 隆) 御異議なしと認めます。よって、会期は2日間と決定いたしました。

次に、日程第3ないし日程第5、以上3件を一括して議題といたします。

この際、企業長から提案理由の説明を求めます。諫山企業長。

○企業長（諫山 和仁） 議員の皆様には、平素より企業団の事業運営に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

それでは、平成31年第1回定例会に提案しております議案の御審議をお願いするに当たり、最初に企業団の運営方針及び重点施策について御説明いたします。

企業団の使命は、安全で安心な水道用水を安定的に供給することにあります。

これを踏まえ、企業団の運営方針及び重点施策について御説明いたします。

まず、用水供給事業につきましては、企業団の安定的な経営に資するため、河川の流況に応じて海水淡水化センターの運転水量を調整する効率的な水運用に努めております。

用水供給料金につきましては、構成団体の皆様の負担軽減を図るため、企業団の財政基盤の強化、安定化を図りつつ、引き続き計画どおり減免を実施してまいります。

企業団の重点施策のうち、施設の改良・更新につきましては、牛頸浄水場等の設備更新を計画的に進めるとともに、海水淡水化センターの設備更新の方向性を検討してまいります。

また、管路の耐震化として、警固断層対策や下原系幹線整備を推進するとともに、独立行政法人水資源機構が福岡導水施設地震対策事業を実施することから、その費用の一部を負担し、災害や事故に強い管路を整備してまいります。

なお、五ヶ山ダムについては、現在、試験湛水が実施されているところであり、供用開始に向け、必要な準備を進めてまいります。

また、筑後川の流況安定化に向けて、小石原川ダムの早期完成や筑後川水系ダム群連携事業の早期建設着手について、今後とも関係者とともに要望活動を行い、事業を促進してまいります。

今後、老朽化が進む水道施設や地震等の自然災害への対策などを推進し、将来にわたって福岡都市圏の皆様の快適な生活を支えていくためには、経営基盤の安定化に努める必要があります。

今後とも、効率的な事業運営に努めるとともに、福岡都市圏の皆様に安全で安心な水道用水を安定的に供給していくため、職員一丸となって取り組んでまいります。

それでは、議案第1号から議案第3号につきまして、提案理由を一括して御説明いたします。

まず、議案第1号 平成30年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計補正予算案でございます。

第2条、業務の予定量につきましては、五ヶ山ダムの供用開始のおくれにより、年間総供給水量を8,864万7,000立方メートル余に、一日平均供給水量を24万2,000立方メ

一トル余に改めるものでございます。

また、設備費の事業費を管路整備事業の減などにより、23億5,648万円余に改めるものでございます。

第3条、収益的収入及び支出でございます。

収入の水道用水供給事業収益は、五ヶ山ダムに係る使用料金及び減免相当額等の減、寺内ダムの災害復旧費に係る補助金の増により、差し引き1億5,584万円余の減額補正を行うもので、支出の水道用水供給事業費用は、五ヶ山ダムに係る管理費負担金等の減及び海水淡水化センターの動力費の減、消費税及び寺内ダムの災害復旧費負担金の増により、差し引き4億5,753万円余の減額補正を行うものでございます。

次に、第4条、資本的収入及び支出につきましては、資本的収入は、管路整備事業費の減に伴う国庫補助金の減により、1億2,917万円余の減額、資本的支出は、管路整備事業の事業費などによる減、五ヶ山ダムに係る財産処分及び企業債の支払い利息の追加による増により、差し引き5億7,574万円余の減額補正を行うものでございます。

これにより、資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、51億6,167万円余となりますが、損益勘定留保資金等で補填することといたしております。

続きまして、議案第2号 平成31年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計予算案でございます。

まず、第2条、業務の予定量でございます。

平成31年度は、6市6町1企業団1事務組合に対し、年間総供給水量は、9,181万2,000立方メートル余、一日平均供給水量は、25万立方メートル余を予定いたしております。

次に、主要な建設改良事業といたしまして、設備費は、37億4,624万円余を計上いたしております。

次に、第3条、収益的収入及び支出でございます。

収入の水道用水供給事業収益は、127億1,386万円余で、これは給水収益などの営業収益、及び構成団体からの補助金や水質検査の受託収益など営業外収益でございます。

支出の水道用水供給事業費用は、113億5,354万円余で、取水・浄水・送水に係る維持管理経費や減価償却費等の営業費用、及び企業債や水資源機構への割賦負担金に対する支払利息など営業外費用及び予備費でございます。

次に、第4条、資本的収入及び支出でございます。

資本的収入は、14億9,295万円余で、国庫補助金、構成団体からの出資金などがございます。

資本的支出は、81億9,886万円余で、設備費、償還金などがございます。

この結果、資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、67億590万円余となりますが、これにつきましては、損益勘定留保資金等で補填することといたしております。

第5条は、債務負担行為でございます。

債務負担行為をお願いする事項は、大野城市筒井地区送水管布設工事で、期間は平成32年度、限度額は1億8,610万円余でございます。

次に、第6条から第8条につきましては、一時借入金の限度額や、予定支出の各項の経費の金額の流用について定めるとともに、構成団体からの補助金の額について記載しているものでございます。

以上が平成31年度予算案でございます。

次に、議案第3号 福岡地区水道企業団布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例案でございます。

布設工事監督者の資格につきましては、水道法施行規則において、技術士法による第2次試験の選択科目が掲げられておりますが、水道法施行規則及び技術士法施行規則が一部改正されることから、当企業団においても同様の改正を行うものでございます。

以上、議案第1号から第3号につきまして、提案理由の御説明をさせていただきました。

御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（松野 隆） 本案についての質疑の通告はありません。

お諮りいたします。本案については、議員全員で構成する条例予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（松野 隆） 御異議なしと認めます。よって、本案については、議員全員で構成する条例予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決しました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、明5日の午後1時に開きます。

本日は、これをもって散会いたします。

直ちに条例予算特別委員会を開きますので、議員の皆さんは委員会室にお入り願います。

午後2時54分 散会

(第 2 日)

平成 3 1 年 2 月 5 日 (火)

平成 3 1 年 第 1 回 福岡 地区 水道 企業 団 議会 定 例会

議 事 日 程 (第 2 号)

2 月 5 日 午後 1 時 開 議

第 1 議案 第 1 号 ないし 議案 第 3 号

本日の 会議 に 付 した 事件

1 日 程 第 1

出 席 議 員 (1 4 名)

1 番	光	安	力
2 番	阿	部	真 之 助
3 番	大	森	一 馬
4 番	大	石	修 二
5 番	松	野	隆
6 番	栃	木	義 博
7 番	藤	本	顕 憲
8 番	ひ え じ ま	俊	和
9 番	富	永	周 行
1 0 番	白	石	重 成
1 1 番	橋	本	健
1 2 番	古	賀	ひ ろ 子
1 3 番	大	西	勇
1 5 番	田	原	耕 一

欠 席 議 員 (1 名)

1 4 番	花	田	鷹 人
-------	---	---	-----

説明のため出席した者

企 業 長	諫 山 和 仁
副 企 業 長	橋 本 淳
総 務 部 長	中 島 淳 一 郎
施 設 部 長	平 川 里 美

職務のため出席した事務局職員

議会事務局次長 榑 井 功 二
書 記 御 幡 弘 信

午後 1 時 00 分 開議

○議長（松野 隆） これより本日の会議を開きます。

日程第 1、議案第 1 号ないし議案第 3 号、以上 3 件を一括して議題といたします。

この際、委員長の報告を求めます。条例予算特別委員会委員長、富永周行議員。

○条例予算特別委員会委員長（富永 周行）登壇 ただいま議題となっております議案第 1 号ないし議案第 3 号について、条例予算特別委員会における、審査の経過及び結果を御報告いたします。

本委員会は 2 月 4 日に設置され、その日の委員会において、正副委員長の互選を行い、本日、付託を受けました 3 議案について、当局の詳細な説明を求め、鋭意、慎重に審査検討を重ねました結果、議案第 1 号ないし議案第 3 号については、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以下、審査の過程で、特に議論され、意見、要望がありましたのは、次の諸点であります。

五ヶ山ダムや海水淡水化施設などの大型水源開発より、市民への安定的水道供給のために、管路の耐震化や老朽化した福岡導水施設の地震対策事業などにこそ、全力を投入すべき。

企業団の役割について、構成団体と連携して啓発を進めるとともに、今後とも経営効率化に努められたい。

福岡都市圏は幾度と渇水に見舞われているため、強い使命感を持って取り組まれたい。

以上で報告を終わります。

○議長（松野 隆） 本案に対し討論の通告はありません。

これより採決に入ります。

議案第 1 号を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は委員長の報告のとおり決することに、賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（松野 隆） 賛成多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第 2 号を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに、賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長(松野 隆) 賛成多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。次に、議案第3号を採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。本案は、委員長の報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長(松野 隆) 全員賛成であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

この際、今期を最後として引退される光安力議員、栃木義博議員及びひえじま俊和議員から挨拶したい旨の申し出がありますので、順次これを許します。光安力議員。

○1番(光安 力) 登壇 まずは、この機会、この場を与えていただきましてありがとうございます。

私は、平成23年より当企業団の議員として今日までやってまいりましたが、今期、任期満了をもって引退させていただきます。本当に長い間、皆さん方にはお世話になりました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

在任期間中は、平成25年に大山ダムの供用が開始され、平成29年には五ヶ山ダムが完成し、そして今現在、小石原川ダムが建設中でございます。水源開発が順調に進んでいるということをこの目に確認いたしました。また、施設の耐震化や管路の更新計画が同時に進行して、これらのことが近い将来、水安定供給に資するものと確信しております。

一方では今日も見られますように、気候は不安定で、少雨、また多雨の二極化の傾向が進み、我々は常に渇水と豪雨に備えなければならないと思っております。

そういう中、福岡都市圏の住民の皆さんが安心して生活できるように、企業団がつくりました新たな水道ビジョン、また長期財政計画、各事業を確実に遂行されますように希望し、期待するものであります。

最後に、議員各位、また企業団の職員の皆さんには健康に十分留意されまして、今後さらに御活躍なされるように祈念申し上げまして、簡単ですが退任の挨拶といたします。長いこと本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(拍 手)

○議長(松野 隆) 栃木義博議員。

○6番(栃木 義博) 登壇 私は、平成11年から通算10年にわたり、水道企業団の議員を務めてまいりましたが、今期を最後に、議員を引退することになりました。

この間には副議長も務めさせていただき、職務を全うすることができましたのも、先輩議員・同僚議員、そして歴代企業長を初め、企業団の皆様方の御指導、御支援によるものと感謝をいたしております。

議員就任当時、筑後川からの導水は行われておりましたが、渇水のためたびたび送水制限が行われ、また、海水淡水化施設については、整備事業に着手されたところでもございました。

その後、平成14年に鳴瀬ダム、平成25年には大山ダムが供用開始され、現在、試験湛水中の五ヶ山ダムを含め、水源開発は着実に進み、水道用水の安定供給のための取り組みが、実を結んだものと感じております。

今後は、施設の改良・更新、耐震化を計画的に進めるとともに、海水淡水化センターについては、設備更新の時期に来ており、更新の方向性についてさまざまな観点から十分な検討を行うよう要望しておきますとともに、福岡都市圏の住民が安心して生活できるよう、今後とも、各事業を着実に推進されますよう、期待しているところでございます。

最後になりますが、議員各位、企業長を初め、職員の皆様におかれましては健康に十分留意をされ、ますます御活躍されますよう心から御祈念いたしまして、簡単でございますが退任の御挨拶とさせていただきます。長い間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(拍 手)

○議長（松野 隆） ひえじま俊和議員。

○8番（ひえじま 俊和）登壇 議員を引退するに当たりまして、お時間をいただき、一言御挨拶を申し上げます。

私は、2015年に御推薦をいただきまして1期4年間、水道企業団の議員を務めさせていただき、その間、用水供給事業促進対策委員会の委員長の職を務めさせていただきました。

短い間ではございましたが、議員各位、職員の皆様には、いろいろと御指導、御鞭撻をいただきました。この場をお借りいたしまして、心からお礼を申し上げる次第でございます。

この4年間、企業団からの水道用水は安定して供給されていますが、九州各地では、2016年の1月の大寒波や4月の熊本地震に伴い、大規模な断水が生じたり、2017年の7月には、九州北部豪雨に伴い、水源地域においては未曾有の大水害が発生し、寺内ダムでは大量の流木、土砂の流入などの甚大な被害が発生をしました。

福岡都市圏の住民が安心して生活できるよう、今後より一層、災害に備えた機能強

化や施設の維持・管理を着実にを行うとともに、老朽化した施設の更新など計画的に推進し、あわせて一層の経営の効率化を進められるよう、期待をいたします。

また、五ヶ山ダムの建設や供用問題、さらには海水淡水化の施設等につきましても苦言を述べさせていただきましたが、これもひとえに、この福岡地区水道企業団の健全なる発展と住民の負担の軽減、水道の安定供給を願うものからであります。

最後になりますが、議員各位、そして職員の皆様の御健康と御多幸を心からお祈りをいたしまして、簡単ではございますが、退任の御挨拶とさせていただきます。本当に皆様ありがとうございました。

(拍 手)

○議長（松野 隆） 次に、諫山企業長から挨拶したい旨の申し出がありますので、これを許します。諫山企業長。

○企業長（諫山 和仁）登壇 平成31年第1回福岡地区水道企業団議会の閉会に当たりまして、一言お礼の言葉を申し上げます。

まず、平成31年度予算案など3件の議案につきまして御審議を賜り、御了承いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。今回の審議におきまして、議員の皆様からいただきました貴重な御意見・御要望等につきましては、今後の企業団の事業運営に反映させてまいります。

本日御参集の議員の皆様におかれましては、そのほとんどの方が4年の任期を満了され、改選の時期を迎えられます。振り返ってみますと、平成28年4月、私が就任した直後に熊本地震が発生し、甚大な被害が与えられ、自然の脅威を感じたところでございます。この福岡においても、平成17年3月に福岡県西方沖地震が発生しており、直下型地震に対応した地震対策が喫緊の課題となっております。

そのような中、警固断層対策として、牛頸浄水場から大野城市役所間の耐震対策を着実に推進するとともに、懸案でありました福岡導水施設地震対策事業につきましても、ようやく今年度から着手することになりました。今後ともさまざまな災害への取り組みをしっかりと進めてまいります。

また、近年は少雨と多雨の二極化が進む傾向にあります。直近では、昨年7月の記録的な豪雨で被害が発生しておりますけれども、その後、特に福岡都市圏ではまとまった雨がほとんど降らず、現在、福岡県の主要ダムの貯水率は平年を20%以上下回っており、このまま雨が降らなければ、都市圏は非常に厳しい状況になるのではないかと危惧しているところでございます。改めて、水源開発の重要性を認識しているところでございます。

昨年3月には、悲願でありました五ヶ山ダムが竣工いたしました。洪水調整機能を

持つこのダムによりまして豪雨災害を免れますとともに、濁水対策でも、五ヶ山ダムはその役割を發揮するものと考えております。一日も早い供用開始が待たれるところでございます。

また、天候に左右されない水源として、海水淡水化施設がますます重要になってきております。新技術や財政面への影響などについて十分に検討の上で、今後、更新の方向性を出してまいります。

昨年12月には、水道経営基盤の強化を目指しまして水道法が改正されたところでございます。また、企業団においても、水道ビジョンの策定や長期財政収支見通しの見直しなど、今後20年間を見通した経営方針を打ち出したところでございます。

企業団の使命である「安全で安心な水道用水の安定的な供給」のため、今後とも効率的な事業運営に努めるとともに、安定的な経営を行ってまいりたいと考えております。これまでの企業団のさまざまな取り組みに対しまして頂戴いたしました、議員の皆様のお理解と御協力に改めて感謝申し上げます。

来る統一地方選挙におきましては、大半の方々が立候補されるように聞き及んでおります。全員の方が、当選の栄誉を受けられますことを心からお祈り申し上げます。

また、今期限りで御勇退されます光安議員、栃木議員、ひえじま議員におかれましては、長年にわたり、議員として御貢献をいただき、まことにありがとうございました。今後のますますの御活躍を祈念いたしております。

最後になりましたが、皆様の御健勝、御健闘を心からお祈り申し上げまして、私のお礼の言葉とさせていただきます。まことにありがとうございました。

(拍 手)

○議長（松野 隆）登壇 私どもの任期中、最後の定例会になるかと存じますので、今議会を閉会するに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

当企業団議会議員には、平成27年に、福岡市の推薦を受け、就任させていただきました。この4年の間、議員として務めるとともに、一昨年8月には皆様方の御推挙を賜り、議長の要職につかせていただきました。その重責を果たすことができましたのも、ひとえに議員各位のお力添えのたまものであると心から感謝を申し上げます。

在任中には、皆様とともに水源の開発や施設の耐震化・更新などに取り組むなど、企業団の設立45年の歴史に一步を刻むことができたのではないかと考えております。

一方、水道施設の老朽化や頻発している地震、豪雨等の自然災害への対策など、水道事業を取り巻く状況は日々変化を続けており、福岡都市圏の皆さんにとって大切な水を安定して供給できるよう、より一層努力していく必要があると考えております。

今後とも、国、県、水資源機構等の関係機関と緊密な連携を図り、当企業団の使命

であります、福岡都市圏に対する水道用水の安定供給に万全を期されるよう、お願いいたします。

さて、ことしは4月末で「平成」の時代が終わると同時に、議員の任期も残り少なくなりましたが、今期を最後に勇退される議員各位におかれましては、当企業団の用水供給事業の推進のため御尽力を賜り、心から御礼を申し上げる次第でございます。

どうぞ、健康には十分御留意をされまして、今後とも当企業団をお引き立て賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、来る4月の統一地方選挙に臨まれる議員の皆様におかれましては、ぜひ当選を果たされ、今後さらに福岡都市圏の発展のため、どうかますますの御指導とお力添えを賜りますよう心からお祈り申し上げまして、はなはだ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(拍 手)

○議長（松野 隆） 以上で、今期定例会の議事は全部終了いたしました。

これをもって平成31年第1回福岡地区水道企業団議会定例会を閉会いたします。

午後1時21分 閉会

委 員 会 審 査 報 告 書

本委員会は付託議案審査の結果、議案第1号ないし議案第3号についてはいずれも原案どおり可決すべきものと決したので、会議規則第72条の規定により報告します。

平成31年2月5日

福岡地区水道企業団議会

議長 松野 隆 様

条例予算特別委員会

委員長 富永 周行

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 松 野 隆

議 員 阿 部 真之助

議 員 古 賀 ひろ子